

中川一政

白山市立松任
中川一政記念美術館
開館40周年記念
特別展



《マジョリカ壺の薔薇》 1976年 当館蔵

画業77年の旅路 — 処女作から絶筆まで —

9/5 土 ▶ 11/29 日

- 【開館時間】 9:00-16:30 (入館は16:00まで)
- 【休館日】 毎週月曜日、9月24日(木)、10月13日(火)、11月24日(火)
※祝日(9月21日、10月12日、11月23日)は開館し、次の平日に休館いたします。
- 【観覧料】 一般400円(市立博物館、千代女の里俳句館にも入館できます)
※高校生以下無料
※各種障がい者手帳を提示の方、及び必要な介護者1人は無料
- 【主催】 白山市・白山市立松任中川一政記念美術館
- 【協力団体】 特別協力：真鶴町立中川一政美術館 後援：北國新聞社

40th 白山市立松任
中川一政記念美術館
NAKAGAWA Kazumasa Memorial Museum of Art

中川一政 松任

検索

石川県白山市旭町61-1(松任駅南口横)
TEL 076-275-7532



ポータル
サイト



公式
Instagram

中川一政

画業77年の旅路

— 処女作から絶筆まで —

展示構成

計81点(予定)

油彩30点、岩彩3点、墨彩1点、書5点、
陶芸等17点、愛用品2点、
挿絵・装丁原画9点、資料等14点

右：中川一政 1980年代 中川鋭之助撮影
左：アトリエ再現イメージ 真鶴町立中川一政美術館提供



令和8(2026)年は、中川一政(1893-1991、文化勲章受章者)の没後35年を迎えます。
中川は97年の生涯の中で、油彩画を中心に、岩彩、書、陶芸や文芸に至るまで、幅広い分野で
精力的に活動しました。いずれにも共通する、独自の生命力溢れる作風は今なお多くの人々を魅了
し続けています。

美術館開館40周年の節目を記念して開催する本展では、画業の始まりである21歳の処女作か
ら、97歳の絶筆まで、作品を通して77年の足跡を辿ります。

併せて、真鶴町立中川一政美術館の協力を得て、油彩画制作を行ったアトリ
エの一部を再現するコーナーを設けるとともに、当地で制作された作品
も紹介します。こうした作品・資料から、中川の生きた証や息遣い、
また当地との縁を感じていただければ幸いです。

当館で処女作と絶筆の同時公開は **20年ぶり!**
アトリエ再現コーナーの設置は **24年ぶり!**



関連イベント

イベントへの参加をご希望の方は、電話、
もしくは右の白山市電子申請サービスより
お申し込みください。



・オープニングコンサート [観覧料要]

中川一政が愛した音楽～フラメンコギター～ 「音色は一つ、道は多門」

出演：森充氏(ギター)
日時：9月5日(土) 13:00～14:00
定員：50名(要事前申し込み、先着順)

・記念講演会 [観覧料要]

「中川一政と真鶴」

講師：蔵本敬大氏(真鶴町立中川一政美術館学芸員)
日時：9月27日(日) 13:30～15:00
定員：50名(要事前申し込み、先着順)

・ギャラリートーク [観覧料要]

9月13日(日)、10月24日(土)、11月15日(日)
時間：各回 11:00～12:00
定員：各回 15名(申込不要/先着順)

・0歳からの家族鑑賞会 [無料]

「ミュージアム・スタート」

日時：10月18日(日)
①14:30～15:20、②15:30～16:20
概ね小学生までとその家族
10月19日(月) 休館貸切
①9:50～10:30 ②10:40～11:20
0歳～未就学児とその家族
定員：各回 5組程度(要事前申し込み、先着順10/6(火)～)
協力：NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会

・記念俳句会

講師：大高翔氏(俳人・「藍花」主宰)
日時：11月1日(日) 13:30～15:30
定員：20名、初心者歓迎
(要事前申し込み、先着順10月6日(火)～)
料金：1,000円(別途観覧料要)

クラウドファンディング

今展覧会の開催費用の一部をご支援いただきたく
クラウドファンディングを実施いたします。(11月30日まで)

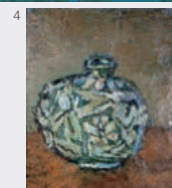
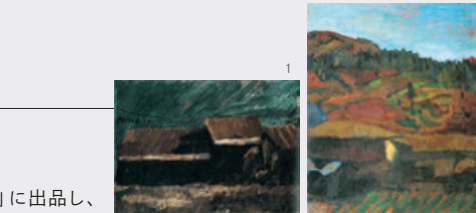
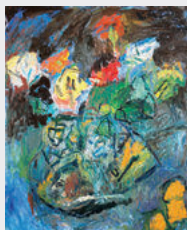


5000円以上の支援をいただいた方は、
お名前を展覧会会場に掲出いたします。
詳しくはホームページをご覧ください。

中川一政の画業(略歴)

年	歳	
1893		2月14日 東京に生まれる。
1914	21	知人から油彩絵具一式を贈られる。 処女作《酒倉》を「巽画会第14回展」に出品し、 審査員・岸田劉生の推薦で入賞。 画家としての道を歩みはじめる。 同時期に、白樺派の同人との知遇を得る。
1921	28	「二科会第8回展」で二科賞を受賞。
1922	29	春陽会が設立され、参加。以降出品を続ける。
1928	35	新聞小説の挿絵を手掛けるようになる。
1949	56	神奈川県・真鶴町にアトリエを構える。 その後、約20年にわたり「福浦港」を描く。
1953	60	初の洋行でフランス等を訪問。 この後も複数回に渡り歴訪する。
1967	74	《箱根・駒ヶ岳》を描き始める。
1975	82	文化勲章受章。
1986	93	松任市立(現白山市立松任) 中川一政記念美術館が開館。
1989	96	真鶴町立中川一政美術館が開館。
1990	97	パリで「現代日本絵画巨匠二人展／ 奥村土牛・中川一政」を開催。 11月27日制作の油彩画《静物》が 絶筆となる。
1991		2月5日永眠。享年97歳。

- 1 《酒倉》 1914年 真鶴町立中川一政美術館蔵
- 2 《風景(うらの山)》 1942年 個人蔵
- 3 《福浦突堤》1966年 真鶴町立中川一政美術館蔵
- 4 《李朝三島手扇壺》 1956-71年 個人蔵
- 5 《向日葵とスペイン壺》 1978年 当館蔵
- 6 《老驥伏櫪》 1984年 真鶴町立中川一政美術館蔵
- 7 《駒ヶ岳》 1975年 当館蔵
- 8 《鯛・大器晩成》 1977年 当館蔵
- 9 《静物》 1990年 真鶴町立中川一政美術館蔵



交通・アクセス

電車

金沢駅から普通列車(小松・福井方面行き)で約10分
松任駅下車、南口から徒歩1分

- 東京方面から 北陸新幹線かがやき
 - 大阪方面から 特急サンダーバード・北陸新幹線
 - 名古屋方面から 特急しらさぎ・北陸新幹線
- 金沢駅まで約2時間30分
金沢駅まで約2時間30分
金沢駅まで約3時間

航空機

小松空港から車で松任方面へ約40分

バス

金沢駅及び金沢市街地から北鉄バスで約30分
「松任」停留所下車、徒歩3分

車

専用駐車場8台(無料)
松任駅南立体駐車場(3時間無料)
北陸自動車道 白山ICより松任駅前まで約10分

